

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校
設置者名	学校法人東北外語学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	ホテル学科 ホテルコース	夜・通信	180 時間	160 時間	
	ホテル学科 国際ホテルコース	夜・通信	180 時間	160 時間	
	ホテル学科 ホテルブライダルコース	夜・通信	180 時間	160 時間	
	エアライン学科 キャビンアテンダントコース	夜・通信	180 時間	160 時間	
	エアライン学科 グランドスタッフコース	夜・通信	180 時間	160 時間	
文化・教養専門課程	グローバルコミュニケーション学科 英語コース	夜・通信	180 時間	160 時間	
	グローバルコミュニケーション学科 韓国語コース	夜・通信	180 時間	160 時間	
	グローバルコミュニケーション学科 大学編入コース	夜・通信	180 時間	160 時間	
(備考) 商業実務課程のエアライン学科エアラインコースと文化・教養課程のグローバルコミュニケーション学科観光コースについては在籍者0名のため、記載なし。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.castwell.jp/jouhoukoukai/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校
設置者名	学校法人東北外語学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学内にて希望者は閲覧が可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	無職	令和7年6月20日 から令和10年度 定時評議員会 終結の時まで	学校運営
非常勤	大学教授	令和7年6月20日 から令和10年度 定時評議員会 終結の時まで	学校運営
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校
設置者名	学校法人東北外語学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 講義概要(シラバス)の作成については、共通フォーマットを作成し、授業担当者対象に配布し、作成依頼をしている。 次年度のシラバスの提出期限は原則年度内にしている。また、公表時期は第一回目の授業時に科目毎に授業担当者が学生へ公表している。また、HPでも公開している。	
授業計画書の公表方法	https://www.castwell.jp/jouhoukoukai/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。 原則的に成績の評価は、期末試験、レポート等により 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び、60 点以上の得点を必要とする。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修科目の成績評価を点数化(100点満点)し、全科目の合計点の平均点を算出する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.castwell.jp/jouhoukoukai/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.castwell.jp/jouhoukoukai/

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	日本国際学園大学キャスエル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校
設置者名	学校法人東北外語学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.castwell.jp/jouhoukukai/
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	〃
事業報告書	〃
監事による監査報告（書）	〃

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ホテル学科 ホテルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 980 単位時間／単位	単位時間 /単位	1, 980 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1, 980 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		50 人	0 人	1 人	23 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前に配布し、作成依頼している。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。 原則的には、成績の評価は 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び 60 点以上の得点を必要とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。
学習支援等
（概要） 学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数 24 人の内訳	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	0 人 (0%)	15 人 (93.7%)	1 人 (6.2%)
（主な就職、業界等） サービス業（ホテル）			
（就職指導内容） 履歴書添削・業界研究・面接指導（授業内容および個別指導）			
（主な学修成果（資格・検定等）） レストランサービス技能検定・ホテルビジネス実務検定・秘書検定・TOEIC Word 文書処理技能検定・Excel 表計算処理技能検定 等			
（備考）（任意記載事項） 1 年生は 9 月～コースがわかるため、コース人数未定（6/13 現在）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施・スクールカウンセラー配置・出欠状況の家庭への送付		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	ホテル学科 国際ホテルコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 040 単位時間／単位	単位時間 /単位	2, 040 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2, 040 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人		50 人	0 人		1 人	24 人	25 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前に配布し、作成依頼している。

成績評価の基準・方法

（概要）

講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。

原則的には、成績の評価は 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び 60 点以上の得点を必要とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。

学習支援等

（概要）

学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数 24 人の内訳	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） サービス業（ホテル）			
（就職指導内容） 履歴書添削・業界研究・面接指導（授業内容および個別指導）			
（主な学修成果（資格・検定等）） レストランサービス技能検定・ホテルビジネス実務検定・秘書検定・TOEIC Word 文書処理技能検定・Excel 表計算処理技能検定 等			
（備考）（任意記載事項） 1 年生は 9 月～コースがわかるため、コース人数未定（6/13 現在）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施・スクールカウンセラー配置・出欠状況の家庭への送付		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ホテル学科 ホテルブライダルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 040 単位時間／単位	単位時間 /単位	2, 040 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2, 040 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		50 人	0 人	1 人	24 人	25 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前に配布し、作成依頼している。

成績評価の基準・方法

（概要）

講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。

原則的には、成績の評価は 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び 60 点以上の得点を必要とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。

学習支援等

（概要）

学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 24 人の内訳	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) サービス業（ホテル）			
(就職指導内容) 履歴書添削・業界研究・面接指導（授業内容および個別指導）			
(主な学修成果（資格・検定等）) レストランサービス技能検定・ホテルビジネス実務検定・秘書検定・TOEIC Word 文書処理技能検定・Excel 表計算処理技能検定 等			
(備考)（任意記載事項） 1 年生は 9 月～コースがわかるため、コース人数未定（6/13 現在）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施・スクールカウンセラー配置・出欠状況の家庭への送付		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	エアライン学科 キャビンアテンダント コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,860 単位時間／単位	単位時間 ／単位	1,860 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1,860 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		7 人	0 人	1 人	27 人	28 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前に配布し、作成依頼している。

成績評価の基準・方法

（概要）

講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。

原則的には、成績の評価は 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び 60 点以上の得点を必要とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。

学習支援等

（概要）

学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 0 人の内訳	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項) R7 年度新設学科のため、上記内容について記載なし 1 年生は 9 月～コースがわかるため、コース人数未定 (6/13 現在)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	エアライン学科 グランドスタッフコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,860 単位時間／単位	単位時間 ／単位	1,860 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1,860 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		7 人	0 人	1 人	26 人	27 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前に配布し、作成依頼している。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。 原則的には、成績の評価は 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び 60 点以上の得点を必要とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。
学習支援等
（概要） 学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 0 人の内訳	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項) R7 年度新設学科のため、上記内容について記載なし 1 年生は 9 月～コースがわかるため、コース人数未定 (6/13 現在)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	エアライン学科 エアラインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,800 単位時間／単位	単位時間 /単位	1,800 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		0 人	0 人	1 人	26 人	27 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前に配布し、作成依頼している。

成績評価の基準・方法

（概要）

講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。
原則的には、成績の評価は 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び 60 点以上の得点を必要とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。

学習支援等

（概要）

学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 0 人の内訳	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) サービス業（ホテル）			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） R7 年度新設学科のため、上記内容について記載なし R7 年度在籍者 0 名のため生徒実員も 0 名と記載			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グローバルコミュニ ケーション学科 英語コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,800 単位時間／単位	単位時間 /単位	1,800 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		7 人	0 人	1 人	12 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前に配布し、作成依頼している。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。 原則的には、成績の評価は 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び 60 点以上の得点を必要とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。
学習支援等
（概要） 学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 0 人の内訳	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） R7 年度新設学科のため、上記内容について記載なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グローバルコミュニケーション学科 韓国語コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,800 単位時間／単位	単位時間 ／単位	1,800 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1,800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		7 人	0 人	1 人	11 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前に配布し、作成依頼している。

成績評価の基準・方法

（概要）

講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。

原則的には、成績の評価は 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び 60 点以上の得点を必要とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。

学習支援等

（概要）

学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 0 人の内訳	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） R7 年度新設学科のため、上記内容について記載なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グローバルコミュニ ケーション学科 観光コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,800 単位時間／単位	単位時間 ／単位	1,800 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1,800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		0 人	0 人	1 人	12 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前に配布し、作成依頼している。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。 原則的には、成績の評価は100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。
学習支援等
（概要） 学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 0 人の内訳	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項) R7 年度新設学科のため、上記内容について記載なし R7 年度在籍者 0 名のため生徒実員も 0 名と記載			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グローバルコミュニ ケーション学科 大学編入コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,800 単位時間／単位	単位時間 ／単位	1,800 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1,800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		2 人	0 人	1 人	14 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前に配布し、作成依頼している。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義概要に記載された成績評価の方法・基準の通り、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。 原則的には、成績の評価は 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び 60 点以上の得点を必要とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。
学習支援等
（概要） 学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 0 人の内訳	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） R7 年度新設学科のため、上記内容について記載なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
ホテル学科	160,000 円	620,000 円	170,000 円	その他に記載の額は施設設備費
エアライン学科	160,000 円	620,000 円	170,000 円	その他に記載の額は施設設備費
グローバルコミュニケーション学科	160,000 円	620,000 円	170,000 円	その他に記載の額は施設設備費
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.castwell.jp/jouhoukoukai/
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校法人東北外語学園日本国際学園大学キャスエル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校では、「自己評価報告書」の結果について学校関係者評価委員会を実施いたしました。各委員から頂いた貴重なご意見、ご提言等を今後の教育活動、学校運営に反映させるべく、教職員一同努力してまいります。
■実施方法 1. 実施時期：2025 年 5 月末 2. 実施回数：年 1 回 3. 実施場所：本校舎 4. 実施体制(学校関係者評価委員及び事務局の構成) ・学校関係者評価委員会 関連業界、卒業生、また本校と密接に関係する方などから 3 名以上で構成する。 (※任期は 2 年) 【学校関係者評価委員】 ・観光業界関係者 ・ホテル業界関係者 ・語学教育関係者 ・卒業生 【事務局】 校長 専門学校事務室 室長リーダー 専門教育センター 教務リーダー 国際交流センター 教務リーダー 5. 実施内容：自己評価結果の説明および学校関係者委員会からの評価

6. 評価結果の公表方法：当該報告書を本校ホームページに掲載して公表		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公立大学法人宮城大学 基盤教育群教授 国際交流・留学生センター センター長	2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで	語学教育関係者
東日本急行株式会社 社員	2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで	観光業界関係者
有限会社八千代 杜のホテル仙台社員	2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで	ホテル業界関係者
同窓会副会長	2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.castwell.jp/jouhoukougai/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.castwell.jp/jouhoukougai/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H104391010312
学校名（〇〇大学等）	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園等）	学校法人東北外語学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		－（ 0 ）人	－（ 0 ）人	20人（ 0 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	0人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				20人（ 0 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
		年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人	
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人	
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人	
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人	
計	人	0人	0人	
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	-
計	人	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

